

病害虫防除技術情報第5号

平成21年8月27日

三重県病害虫防除所

イチゴの炭疽病が増えています

1 対象作物 イチゴ

2 病害虫名 炭疽病

3 発生状況 やや多 これは梅雨明けが遅れ、その間に発生が拡大したものと思われます。

(1)巡回調査結果

調査時期 (平年値)	7月上旬	8月上旬
炭疽病被害株率	0.5%(0.25%)	1.2%(0.6%)

(2)一般圃場子苗床での炭疽病発生状況(8月中旬現在)

地域名	伊勢志摩地域	松阪・津地域	全域
発生量	やや多	多	やや多

4 <予想される向こう1か月の天候>(8月21日発表)

期間の前半は平年と同様に晴れる日が多いでしょう。後半は天気は数日の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の気温は平年並の確率50%、降水量は平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は1週目は低い確率70%です。

5 本病の特徴

- (1)炭疽病菌はかびの一種で、病斑はランナーと葉に生じ、葉柄のつけねのクラウン部分が侵されるとやがて枯死します。
- (2)病原菌の発育適温は28℃前後で高温を好み、6月下旬から9月下旬にかけて発病しますが、ビニール被覆後も感染株を定植した圃場では、高温に管理すると枯死株が続出することが多い。
- (3)炭疽病菌の胞子が雨や頭上灌水のしぶきに混じって飛散、伝染するため、高温期に雨が続くと発生が急増します。

6 防除対策

- (1)早期発見に努め、発生が少ないうちに防除をしてください。
- (2)薬液がかかりやすくなるよう、不要な下葉を除去して丁寧に散布してください。
- (3)灌水は土がはねないように注意してください。
- (4)除去した下葉(特に被害葉)には、病原菌が付着していることがあるので圃場外で適切に処分してください。
- (5)農薬は、ラベルの表示を確認して正しく使用してください。